

鎌ケ谷市地域福祉活動計画 おたがいさまプラン 鎌ケ谷 安心と互助のまちづくり

実施期間 平成18年度～22年度

鎌ケ谷市社会福祉協議会では、昨年度一年をかけて「地域福祉活動計画」を策定いたしました。この計画「おたがいさまプラン」は、鎌ケ谷市に住んでいる市民一人ひとりの参加で、よりよい「地域福祉」をつくりあげていくことを目指しています。

鎌ケ谷

社協 だより

平成18年7月25日 第68号

発行……鎌ケ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ケ谷市初富928-429
総合福祉保健センター5F
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545

●地域福祉活動計画って？

鎌ケ谷市社協では「鎌ケ谷市の福祉を今後どのように進めていくのか」を地域のみんなで考えるために講演会や各地区での懇談会等を行い福祉関係団体の協力を得て策定しました。

この計画は市社協の活動計画、各地区社協の活動計画、各種団体等の活動計画を中心に、今後5年間どのような活動をしていくのかを定めました。

「おたがいさまプラン」は市社協、地区社協で閲覧できます。また、ホームページからダウンロードできます。www.kamagayashakyo.com

●おたがいさまプラン

現在では、近所に住む人の顔も知らないなど、地域とのつながり、「相互扶助」が薄れつつあります。

そこでこの計画では、地域の絆づくりや互助活動を再興したいと考え、「おたがいさまプラン」と名付けました。

●地域福祉って？

誰もが、住み慣れた地域において、いきいきと自立した生活が送れるようにすることを目指し、地域におけるさまざまなサービスや活動を組み合わせ、ともに生き、ともに支え合う地域づくりを具体化していくものです。



このイラストは、みんなで鎌ケ谷市の福祉を支えることをイメージしています。

おたがいさまプラン

鎌ケ谷市地域福祉活動計画

鎌ケ谷 安心と互助のまちづくり



平成18年4月

社会福祉法人

鎌ケ谷市社会福祉協議会

●地域福祉活動計画の理念

「誰もが安心して暮らせる人に優しいまちづくり」を進めていくために、行政だけでは対応が困難な多様なニーズに、柔軟に対応できる支援を行っていくことが必要となっており、地域の皆さんやボランティア、福祉・保健等の団体、行政機関等の協力を得ながらともに考え実行していく必要があります。

地域福祉を進めるための

私たちの取り組み

〈地域福祉活動計画「おたがいさまプラン」より抜粋〉

●市社協の取り組み

- ①誰もが安心して生活できる仕組みをつくっていきます
相談窓口の充実や保健・福祉サービスを提供している機関・団体の相互の連携を図っていきます。
- ②「地域支え合いセンター」の設置に向け努力していきます
地区社協を中心に、地域で市民活動を行っている個人・団体、施設等との連携を図り、また相談窓口としての機能強化に努めていきます。
- ③子どもの頃から地域活動や福祉活動に参加できる環境をつくっていきます。
地区社協と連携・協働して福祉教育（福祉共育）の推進を図っていきます。
- ④市民一人ひとりが福祉への理解を深めていきます
福祉への理解を促進するため、わかりやすい情報の発信、理解を深めるための機会の提供に努めていきます。
- ⑤地域の福祉課題の把握に努めていきます
市社協・地区社協機能の充実を図り、福祉課題に対する相談業務の充実、地域のふれあい活動の促進に努めていきます。
- ⑥さまざまなボランティア活動、市民活動を推進していきます
ボランティアセンター機能の強化・充実を図るとともに、地区社協ボランティア機能の強化・充実について協働で取り組み、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりについて検討していきます。
- ⑦災害救援ボランティアの養成に力を注いでいきます
災害救援ボランティア養成講座を実施し、災害時に地域で効果的に活動できる人材の養成に努めていきます。
- ⑧「災害ボランティア基金」を創設し充実に向けて努めていきます
いつ発生するかわからない大規模災害に向け、基金を創設し災害時に備えます。
- ⑨社協体制の強化に努めていきます
事務局、ボランティアセンター、地区社協等の組織体制や財源のあり方、会員組織の見直しをします。



●6地区社協の取り組み

- ①多種・多様な団体・個人の連携を進めていきます
地域にある福祉関係機関・団体・施設などがそれぞれの持つ資源の有効活用のためのネットワークの構築に努めていきます。
- ②地域活動や福祉にふれられる環境をつくっていきます
地区内にある小・中学校との連携を図り、高齢者や障がい者とふれあう機会やボランティアへの参加意欲を醸成していきます。
- ③ボランティア活動、市民活動を推進していきます
誰もが気軽に、ボランティア活動や地域活動に参加できるよう、情報提供や活動団体間の交流など、ボランティアセンターと連携し進めていきます。
- ④身近な地域で福祉活動を推進していきます
地域の活動を知り、参加してもらえるよう、広範な団体や個人が集える場の整備に努めていきます。
- ⑤あいさつ運動を推進していきます
近隣関係が希薄化し、地域の相互扶助機能が弱体化しています。深く人とかかわることに負担を感じている人や近隣の人とかかわりたいのにかかわれない人などに対する支援策として、「あいさつ」を積極的に行う運動を実施していきます。



●各種団体等の取り組み

市内で活動している、68団体(ボランティアセンター登録団体、福祉施設、福祉NPO法人、当事者団体等)もそれぞれの取り組みを定めました。

あなたの会費が 地域の福祉を支えています

平成18年度社会福祉協議会会費にご協力をお願いします

年会費

一般会員	500円
法人会員(会社・商店等)	2,000円以上
施設・団体会員	2,000円以上

お知らせ

◆指定管理者になりました

4月より社会福祉協議会が地域福祉センター、社会福祉センターおよび福祉作業所友和園の指定管理者として鎌ヶ谷市から指定されました。

◆ボランティア団体等向けの助成金情報等について

財団等によるボランティア団体などを対象とした助成金情報を社会福祉協議会事務所内にて公開していただきます。

平成17年度事業報告



1. 法人運営事業

- ①会務運営（理事会4回、評議員会3回実施）
- ②啓発事業（広報紙年3回発行、ホームページによる福祉情報等の提供）
- ③福祉関係団体等への育成支援および調整（福祉団体、福祉NPO、福祉施設等）
- ④要援助者への支援（地域福祉権利擁護事業への対応、災害見舞金の交付等）
- ⑤福祉教育支援（市内小中学校への助成）
- ⑥共同募金運動の推進

2. 地域福祉事業（地区社会福祉協議会事業）

- ①広報事業（地区社協広報紙を年2～3回発行）
- ②交流事業（ふれあいまつり、軽スポーツ大会、バスハイク等）
- ③在宅福祉事業（リハビリ教室、介護教室等）
- ④ボランティア育成事業（地域ボランティア活動の支援）

3. ボランティア育成事業（ボランティアセンター事業）

- ①相談2,809件 斡旋818件
- ②ボランティア体験事業 延べ218名参加
- ③ボランティア養成事業 延べ312名参加

4. 在宅福祉事業

- ①ふれあいサービス 延べ活動利用回数2,983回 延べ活動利用時間数6,650時間
- ②在宅介護者の集い 毎月1回延べ289名参加

5. 相談事業

- ①心配ごと相談 開催日数48日80件
- ②心の相談 開催日数90日174件

6. 資金貸付事業

- ①総貸付相談件数 59件
- ②福祉資金貸付 14件
- ③生活福祉資金貸付申請受理 6件

7. 受託事業

- ①社会福祉センター 開館日275日 年間利用者数37,797件
- ②福祉作業所友和園 定員40名 生活、作業、就労指導



平成17年度決算・18年度予算総合資金収支計算書

(単位：円) (単位：千円)

会計単位及び経理区分	17年度収入額	17年度支出額	差 額	18年度予算額
1 一般会計	227,563,185	219,330,445	8,232,740	201,549
①法人運営	94,888,481	89,603,807	5,284,674	79,853
②共同募金配分金	9,391,000	9,391,000	0	9,768
③生活福祉資金貸付事務受託	327,200	327,200	0	328
④高齢者、重度障害者資金貸付事務受託	9,000	9,000	0	9
⑤社会福祉センター運営受託	21,543,000	21,543,000	0	24,627
⑥福祉作業所運営受託	79,596,000	79,596,000	0	65,800
⑦心配ごと相談	1,747,027	640,840	1,106,187	875
⑧ボランティア活動	4,187,518	3,195,252	992,266	4,652
⑨地区社協事業	15,428,053	14,718,557	709,496	15,168
⑩在宅サービス事業	445,906	305,789	140,117	469
2 公益事業特別会計	1,591,516	970,960	620,556	1,435
①地域福祉センター運営受託	1,591,516	970,960	620,556	1,435
3 その他の特別会計	93,402,180	80,899,223	12,502,957	9,686
①福祉資金特別会計	1,101,127	699,000	402,127	751
②善意銀行特別会計	12,896,309	1,233,679	11,662,630	2,600
③ふれあい基金特別会計	73,510,849	73,510,849	0	1
④ふれあいサービス事業特別会計	5,893,895	5,455,695	438,200	6,334
総合計	322,556,881	301,200,628	21,356,253	212,670

善意の寄付 ありがとうございました

平成18年2月16日～平成18年6月15日

(敬称略・順不同)

名 前	金額・品名
ティ・ツウダンスサークル	40,000円
鎌ヶ谷ニューボーイズ“うたごえ喫茶”	60,000円
渡邊 洋一(地域福祉活動計画アドバイザー)	20,000円
秋元 イツエ(鎌ヶ谷)	30,000円
鎌ヶ谷モロロジ-事務所	5,000円
(有)ウイズ	10,000円
立正佼成会鎌ヶ谷西支部	15,970円
鎌ヶ谷市民謡連合会	19,254円
木下 秀子(南初富)	100,000円
鎌ヶ谷市詩吟連盟	21,256円
千葉土建鎌ヶ谷支部施工協力会	8,700円
鎌ヶ谷市住宅増改築修繕相談団体連絡会	32,900円
歌優会	24,048円
エーエムピーエム鎌ヶ谷初富駅前店	4,966円
匿名(1名)	3,000円
匿名(1名)	20,000円
明治安田生命労働組合船橋支部	雑巾 280枚

ボランティアセンター

通信

総合福祉保健センター5F
問い合わせ TEL(442)2940
FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日：午前9時～午後4時
第2・4土曜日：午後1時～午後4時

これからの予定

- 7月～8月
ジュニアボランティア
体験学習
- 10月～12月
市民ボランティア
体験学習



災害からいのちをまもる

平成18年度災害救援ボランティア養成講座を開催

いざという時に地域の防

災リーダーとなる人材を養成するため、昨年度よりスタートした「災害救援ボランティア養成講座」。2回目となった今年度の講座には16名が参加し、防災に関する基礎知識を学びました。



災害救援ボランティア養成講座1期生

森 輝正

私がこの講座を受講した動機は、阪神・淡路大震災の経験からです。宝塚の家は半壊し、見渡す所家屋が全壊や半壊の見るも無残な有様に足は震え呆然と立ちすくみました。避難所となった近くの体育館で一夜を過ごすことになりましたが、非常に苦痛な思いをしました。そんな中でも地域の方々が休む間もなく役割を分担して動いていた姿は、いまだに頭から離れません。

講座では自分の命・家族の命・みんなの命を守るた

めに、防災に関する知識を学び、普通救命講習も受けました。救命講習は忘れてしまわないよう、繰り返しの実習が必要と感じました。

受講後は地域防災に少しでも役立ちたいと考え、自治会長に相談して月1回の「ふれあい談話室」で、「わが身・わが命は自分で守れ」を基本に、家具転倒防止・3日分の飲料水と食料・非常持出しの常備などについての話をしました。

昨秋の福祉健康フェアでは災害救援ボランティアとして、防災についてのアンケートを実施し、市民の防災に関する関心の高さを感ずりました。

今年度の養成講座では、1期生として、防災センターでの災害体験や、市の防災の実情についての講義に参加し、その後1期生と2期生とで非常食の試食をしながら交流をしました。

今後この講座を続けていいただき、災害救援ボランティアの登録者が増え、地域の防災力が高まることを願っています。



ボランティアグループ紹介

要約筆記サークル

「あいあい」

会長 原 拓也

「要約筆記」とは聴覚に障がいが生じ、聞くことに不自由を感じている方たちのために、講演会や会議など、必要に応じて話の内容を要約し、日本語で表記して聞き手に伝える作業をいいます。高齢社会といわれる中で、中高年になってから聴覚に衰えを感じる方が増えています。私たちが耳代わりとなって情報保障をすることによって、家に閉じこもってしまわず、積極的に社会参加できるようになればと思います。



▲会員は現在23名。定期的に研修・研鑽の場を持ちながら活動しています。

はじめの一步

「男の料理と仲間づくり」



広報を見て参加しました。参加した仲間は16名。4名4班体制で6回の調理実習を行いました。指導して下さったのは元帝国ホテルシェフ高申秀夫先生でした。包丁の使い方から調理の心構え等、丁寧に教えてもらいながら実習しました。

実習の最終回は、在宅で家族を介護している方々におもてなし料理を披露しました。日頃苦勞されている方々に、ひと時ではありますが、心休まる時間になって欲しいと願いつつ料理しました。皆さん喜んでくださり、一同心から良かったと思っております。

吉田光男

★定年退職後の男性を対象に、地域活動への第一歩を踏み出すきっかけになればと企画しました。

整理ボランティア
コスモスの会より
ご協力へのお礼とご報告
収集したブリペイドカード・使用済切手等を換金し、小規模福祉作業所「生活の丘梨の木工房」へ2万円、たんぼぼハウスへ3万円を備品購入資金の一部として寄贈しました。引き続き皆様のご協力をお願いします。

集めています

①学生ボランティアより

小学6年生から大学生で組織する学生ボランティアは、福祉行事の手伝いや、障がいのある人たちの交流などを行っています。活動資金を得るため、8月の「市民夏まつり」でバザーを実施しますので、献品にご協力をお願いします。



②ボランティアグループや施設で利用します

- ・書き損じのハガキ
 - ・タオル（新品）
 - ・花の種
 - ・ノートパソコン
- (ウィンドウズ98以上)